

松岡 直之 (MATSUOKA Naoyuki)

出身地：埼玉県上尾市（芸人“ハライチ”の原市は隣の中学校区です）
略 歴：1985年 農林水産省入省（構造改善局防災課配属）
1993年 沖縄総合事務局土地改良課課長補佐（計画担当）
2003年 JICA 長期派遣：中国・北京市
2009年 JICA 長期派遣：ケニア・ナイロビ市
2011年 （一社）地域環境資源センター農村環境部長
2013年 環境省水・大気環境局除染企画官
2015年 JICA 長期派遣：タンザニア・アルーシャ市
2021年 農工研研究推進部災害対策調整室長
2023年 定年退職



沖縄・竹富島にて

研究者の横顔

私は研究者ではありませんが、本メルマガ編集長として今回が最後の号となりますので、御礼旁々自己紹介する次第です。

<転勤と引越>

引越を伴う勤務地の変更は17回ありました。うち家族一緒の引越は8回、単身赴任は通算11年、引越も仕事の一部という感じでした。東日本大震災の時、家族は仙台市内在住、私はケニアに単身赴任しておりました。家族で私だけあの地震の恐怖を体験していません。また、58歳にして初めて筑波での勤務となりましたが、最後に研究所の仕事を垣間見ることができて良かったです。

<現場>

20・30台の時期に、鳥取県東伯地区、新潟県柏崎地区、佐賀県上場地区、沖縄の離島（伊是名島ほか）でダムの調査・設計・積算・施工に携わり、農工研造構部の方々にお世話になりました。業務を進めていく中で困難な課題に直面することもありましたが、近年は皆無となっているダムの新造に関わったことは、今思えば貴重な経験を得ることが出来て幸運でした。また環境省では宮城県・福島県内での除染事業を担当しました。この時は、農地の除染に関して農工研で作成したガイドラインに沿って施工するなど、農工研の研究成果が生かされました。この体験から、農工研では様々な研究をしていますが、全ての研究はいつか実を結んで社会の発展に役立つと信じています。

<海外>

3回の海外勤務は大変楽しく、貴重な経験をさせてもらいました。私は英語のスキルは高くありませんが、現地語（中国語・スワヒリ語）を少し習得したことがコミュニケーションを円滑にし、仕事・生活をエンジョイすることに繋がったと感じています。

<趣味>

大学でサイクリング部に所属して以来、自転車で旅行することが趣味の一つですが、併せて私が志向しているのは、職人が鋼管を溶接して造ったフレームに20世紀の部品を組み付けた、いわばビンテージバイクです。自転車でテントを積んで北海道や九州を巡るのが今の夢です。

農工研では2年間という短い間でしたが、関係皆様には大変お世話になり有難うございました。この度農工研を離れますが、新たな職場で引き続きご厚誼賜りますようお願い申し上げます。

